

## ニコラス・セーチェーニ

CSIS 日本部副部長兼研究員。主に日米間の政治外交を研究。CSIS 以前の 2005 年は、フジテレビ・ワシントン支局のニュース・プロデューサーとして、米国の外交政策を担当。

東アジア相互関係論に関する電子ジャーナル「Comparative Connections」の日米関係四半期報告書共同執筆者の一人。他にも「A Turning Point for Japan's Self Defense Forces」(Washington Quarterly, 2006)、「Common Values: A New Agenda for U.S.-Japan Relations (マイケル・グリーン共著)」(Georgetown Journal of International Affairs, 2006)などの執筆を手掛ける。2000 年、ジョンズ・ホプキンス大学 SAIS より国際関係論修士号（国際経済、日本研究）を、また 1994 年に、コネチカット・カレッジよりアジア研究の学士をそれぞれ取得。日本在住期間は 6 年に渡り、日本語堪能。